おまっちぇ誕生秘話

「おまっちぇ」が紡ぐ松江の未来

令和7年、合併20周年を迎えた松江市に新たなPRキャラクター「おまっちぇ」が誕生しました。制作に込めた思いや、未来への展望を語り合いました。

上定昭仁（うえさだ・あきひと）

松江市出身。21年4月松江市長就任。25年4月再任（現職）

上定市長　合併20周年という節目を迎えるにあたって、改めて市民のみなさんの松江への愛着や誇りを育むとともに、その自慢の魅力を全国・世界に発信したいと考えました。松江には、宍道湖・中海、国宝松江城、茶の湯文化など、素晴らしい地域資源があふれていますが、それをみんなにわかりやすく伝えられる、松江ならではの「ゆるキャラ」を生み出そうと、公募で広く、ご協力をお願いしました。

えちがわ氏　僕は3年前にUターンで松江に戻ってきたのですが、前々から松江の公式キャラクターを作ることが夢だったんです。募集を知った時は最高のタイミングだと嬉しく思い、同時に縁を感じました。

「おまっちぇ」のデザインはどのように生まれたのでしょうか。

えちがわ氏　実はスッと生まれてきた印象です。それは松江が故郷であり、心から良い町だと思えているからだと思います。制作する時には「松江に松江城、宍道湖、そしてそれを取り囲む美しい街並みがあって良かったなぁ」としみじみと思う気持ちを込めました。それと同時に「どうかみんなに可愛がってもらえますように」という想いも込めています。

えちがわのりゆき

1980年生まれ。松江市在住。『おまっちぇ』のデザインを考案。まんが家・絵本作家で代表作に『ほわころくらぶ』『センチメンタルおとうたん』など。優しく温かな作風が幅広い世代に支持される。人形劇団「うんころもち劇団」を主宰するなど多方面で活動中。

ますPRキャラクター制作に至った経緯を教えてください。

上定市長　合併20周年という節目を迎えるにあたって、改めて市民のみなさんの松江への愛着や誇りを育むとともに、その自慢の魅力を全国・世界に発信したいと考えました。松江には、宍道湖・中海、国宝松江城、茶の湯文化など、素晴らしい地域資源があふれていますが、それをみんなにわかりやすく伝えられる、松江ならではの「ゆるキャラ」を生み出そうと、公募で広く、ご協力をお願いしました。

えちがわ氏　僕は3年前にUターンで松江に戻ってきたのですが、前々から松江の公式キャラクターを作ることが夢だったんです。募集を知った時は最高のタイミングだと嬉しく思い、同時に縁を感じました。

「おまっちぇ」のデザインはどのように生まれたのでしょうか。

えちがわ氏　実はスッと生まれてきた印象です。それは松江が故郷であり、心から良い町だと思えているからだと思います。制作する時には「松江に松江城、宍道湖、そしてそれを取り囲む美しい街並みがあって良かったなぁ」としみじみと思う気持ちを込めました。それと同時に「どうかみんなに可愛がってもらえますように」という想いも込めています。

上定市長　たくさんのユニークなアイデアの中から、市民のみなさんの投票と、選定委員の方々の厳正な審査によって、えちがわさんのデザインに決まりました。松江城、しじみ、お茶といった松江を象徴する「キラーコンテンツ」が溶け込んでいて、伝統的なアイテムなのに堅苦しくなく、モダンかつオシャレで、松江らしい温かみや柔らかさを感じます。

愛称の「おまっちぇ」には、どんな意味が込められていますか。

佐藤氏　市報でたまたま愛称募集を知りました。お酒の席でよく友人が松江のことを「まっちぇ」って言っていて、かわいらしくなるように「お」を付けました。

上定市長　こちらも中立・公正な審査を経て、佐藤さんが提案された「おまっちぇ」に決定しました。松江の「茶の湯文化」をアピールできること、ほかにはない一度聞いたら耳に残る名前であることなどが評価されました。市民のみなさんから「かわいくて親しみやすい！」と声をかけてもらい、市外の方にも松江の文化や伝統を知っていただくきっかけになっています。

今後、「おまっちぇ」をどのように展開していく予定ですか。

上定市長　SNSや「市報松江」を通じて、「おまっちぇ」が、松江の四季折々の魅力やイベント情報を積極的に発信していきます。特に若い世代のみなさんや、県外にお住まいの方々に、松江に関心を持ってもらえるよう、市内外で開催されるイベントに登場したり、「おまっちぇ」グッズの製作も進める予定です。

NHKの連続テレビ小説「ばけばけ」で注目された松江の魅力を、引き続き「おまっちぇ」が全国・世界に届けてまいります。

えちがわ氏　僕個人としては、今作っているグッズに加えて新しいものを少しずつ増やし、他県での展示やイベントでも販売して多くの方に知ってもらえたらと思っています。ただ、自分個人で作れるものには限界がありますので、ぜひ地元企業に興味を持ってもらい、グッズ展開が広がっていってほしいですね。

佐藤祐子（さとう・ゆうこ）

松江市在住。市報で愛称募集を知り、「おまっちぇ」を考案し応募。県内外1,483人から寄せられた1,565案の応募の中から、審査を経て選ばれた。

最後に、「おまっちぇ」と共に描く松江の未来について、お聞かせください。

えちがわ氏　松江市民のみなさんには、町で「おまっちぇ」を見かけるとほっとするなぁと思ってもらえたり、宍道湖で夕日を眺めている時に「おまっちぇもどこかでしみじみ眺めているかな」と思ってもらえるような、身近な存在になってほしいです。市外の方々には、「おまっちぇ」を通して松江に興味を持ってもらえる入り口になれば嬉しいですね。そして何よりも、永く愛されるキャラクターに成長していってほしいです。個人的な夢としては、宍道湖沿いの公園に「しみじみしているおまっちぇのオブジェ」ができたり、マンホールになったりしたら嬉しいです（笑）。

佐藤氏　世代を越えて、そして世代が変わっても松江市民に愛される身近な存在になってほしいですし、おまっちぇをきっかけに松江に遊びに来てくれる人が増えたらうれしいですね。

上定市長　「おまっちぇ」を通じて、市民のみなさんに松江の素晴らしさやユニークさを再発見してもらい、「松江の良さを守り育てて次世代に引き継ごう！」という想いの輪が広がることを願っています。日本全国・海外のみなさんには、まず「おまっちぇ」を知ってもらい、松江に興味を持ってもらう、そして、松江を訪れて「松江ファン」になっていただけるのを楽しみにしています。「おまっちぇ」と松江は、みんなから愛されて大きく成長してまいります。ご期待ください！

松江市

おまっちぇ

おまっちぇのことはコチラから

松江市PRキャラクター。誕生日は3月31日。穏やかですぐに「しみじみ」してしまう心優しい性格の持ち主です。趣味は野点（のだて）で、自慢のお抹茶を楽しみながら「水の都・松江」の多彩な魅力を、全国へ向けてのんびりと発信しています。